



木曽林務課だより

11月

早いもので、2018年も残り2ヵ月！
日に日に寒くなってきていますが、寒さに負けず元気に過ごしましょう◎
木曽の冬を迎えようとしている林務課に、先日うれしいニュースがありました！
今回はそのニュースについてお伝えします。

平成30年度長野県きのこ品評会が開催され、
乾しいたけの部において池上達雄さんが
林野庁長官賞を受賞されました。

賞名	品目	受賞者名
林野庁長官賞	乾しいたけ	池上 達雄 氏 (木曽町)

シイタケの形状が良好で揃いも良く、品質が大変優れていることが評価されました。

池上さんは、京都府出身の67歳。木曽町開田高原で、ナラとクヌギによる原木シイタケ栽培を行っています。

シイタケ栽培は、今年で44年になりますが、長年培った高い生産技術により、原木の養分と水だけで育てる安全・安心のシイタケを、夫婦二人三脚で生産しています。



池上 達雄 さん



ホダ場と呼ばれる、きのこを栽培する場所はこんなに広いんだ！



きのこ品評会って??

農林水産祭参加行事として、長野県内で生産されるきのこを一堂に集め、優秀な生産者を選奨するとともに、広く一般に公開し、生産技術並びに品質向上と消費の拡大を図るために毎年開催されています。

どんこ(冬菇)って??

冬から早春にかけて気温の低い時期に成長した厚肉のきのこを傘が5~6分開きで採取します。傘の表面に白色の多数の亀裂があるものを天白冬菇、その亀裂が褐色のものを茶花冬菇といいます。

右の写真のきのこは、**花どんこ**と言うんだよ。

